

情報公開文書

作成日・バージョン：2023 年 6 月 2 日・バージョン 2

1. 研究の名称：
Tuft 細胞性に着目した胸部がんの特性解明と新規治療法の提唱
2. 本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関および研究責任者：
研究機関：京都大学医学部附属病院 病理診断科
研究責任者：山田 洋介
4. 研究の目的・意義：
本研究の目的は、特有の分子生物学的、臨床的、病理学的特徴を示すことで近年注目されている tuft 細胞性胸腺がんおよび肺がんの詳細な臨床病理学的特徴を単施設の症例を用いて探索し、tuft 細胞性が当該腫瘍の臨床病理像に与える影響を明らかにすることです。このことで、胸腺がんや肺がんのより妥当な病理組織学的分類、適切な治療指針の確立に寄与することが期待されます。
5. 研究実施期間：研究機関の長の実施許可日から 3 年間（2024 年 8 月 3 日）
6. 対象となる試料・情報の取得期間
1998 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までに胸腺上皮性腫瘍および肺がんの生検、手術を受けられた患者さん
7. 試料・情報の利用目的・利用方法
目的：上記胸部がんを tuft 細胞性がん、非 tuft 細胞性がんに分類し、tuft 細胞性がんの特徴を抽出するため。
方法：診断時に作製された組織ブロックから免疫組織化学を行って tuft 細胞性がんを抽出し、tuft 細胞性と相関する因子を統計学的解析を用いて抽出します。
8. 利用または提供する試料・情報の項目
試料：HE 染色標本、POU2F3 などに対する免疫組織化学標本
情報：年齢、性別、腫瘍の組織型など
9. 当該機関を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
研究責任者：京都大学医学部附属病院 臓器移植医療部 講師 山田 洋介
既存試料・情報のみを行う施設：日本赤十字社和歌山医療センター・京都桂病院

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学医学部附属病院 臓器移植医療部 講師 山田 洋介
11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止します。
12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法：
本研究には該当しません。
13. 研究資金・利益相反
 - 1) 研究資金の種類と提供者：運営費交付金
 - 2) 提供者と研究者との関係：利害関係はありません。
 - 3) 利益相反：「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。
14. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
 - 1) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学医学部附属病院 病理診断科 山田 洋介
(Tel) 075-751-3488 (E-mail) yyamada@kuhp.kyoto-u.ac.jp
 - 2) 京都大学の相談窓口：
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp